足寄郵便局 53.4.13 足寄町議会 受付

本別町長選を展望する

五月に迫った本別町長選に向ってそれぞれの後援会活動はすでに票読みの段階に入った形ですが、冷静に各派の情勢を展望してみますと―。

水元派

現職の水元孝夫氏は三期かぎりで勇退を公言していましたが、昨年末になって周囲から推されて四選出馬を決意したもので、そうなれば十二年間の実績から知名度と広範な支持層によって現職の強味を遺憾なく発揮して、なんといっても最有力とみられています。

しかしこんどの場合はいつもと違って基盤としてきた中川一郎後援会が分裂していること、一月二十五日の町議会で『できれば年内に』とご遠慮の予定だったが…』といった出馬表明があってから二月に入って社会党や地区労が推薦を決めるという格好だったことで水元氏の四選については革新派内部ではかなり異論があって、これをまとめるのに時間がかかったそうで、かつて岡崎克雄氏と一騎討ちの条件はなかったものの、井出派にすればせっかくの出馬の意を裏切られた形。

井出氏は町議三期、商工会長二期、自民党支部長四期の実績と肩書をフルに活かして、大票田の中心市街地から根強い保守層農民をとらえて現職に肉薄しています。

井出派

井出利一郎氏の場合は前回に出馬を決定しましたが、元老の智陽覚了氏が町の平和のためという、それだけの理由で水元派から本人とつもと違って基盤としてきた中川一郎後援会が分裂していること、一月二十五日の町議会で『できれば年内に』とご遠慮の予定だったが…』といった出馬表明があってから二月に入って社会党や地区労が推薦を決めるという格好だったことで水元氏の四選については革新派内部ではかなり異論があって、これをまとめるのに時間がかかったそうで、かつて岡崎克雄氏と一騎討ちの条件はなかったものの、井出派にすればせっかくの出馬の意を裏切られた形。

井出氏は町議三期、商工会長二期、自民党支部長四期の実績と肩書をフルに活かして、大票田の中心市街地から根強い保守層農民をとらえて現職に肉薄しています。

矢野派

矢野幸雄氏は水元氏の三選を支えてきた『行動隊長』として、商工、農村青年の四選出馬を確かめたところ『水元氏は本人の健康で、青年代表がものの順序として昨年九月に水元後援会長の石山利雄氏の意向を聞いたうえで』と二度も名指しされたので、『矢野君がいいのではないか』と言ってくれた」とのことで矢野陣営は水元町政の後継者として活動を開始したものです。

そうしておいて暮になって意外にも水元氏の四選出馬の動きとなったものの、矢野派としてはすでに引くに引けない体制となっており、むしろこれまで地区労などといっしょになって水元氏のために紛骨砕身つとめてきただけに、井出陣営が水元氏に裏切られた以上に深刻な打撃をうけて、これまでの水元票を矢野票に切り替える努力をつづけています。

青年・婦人層には強い？ 矢野氏 はげしい三どもえ

たしかに水元氏は四選出馬の意志はなかったようで、建設業者十八社による「町づくり有志の会」（吉田松男会長）が出馬を要請にいったさいは『またオレにやれというのか、それじゃゆつくり休むことも楽しく遊ぶこともできなくなる』といってうけつけなかったそうですが、それを攻めて攻めて攻め落としたのだそうです。

社会党支部では水元氏の四選には反対だったし、地区労の幹部でも四選に出るなら辞退を勧告するとまでいっていたのは、年令的にも健康上から功成り名とげていまが引退の花道と、本人のためを思ってのことでしたが、しかし本人が出馬について協力の要請があった町議会で決意表明があった以上は従来の関係から推薦となったもので、その理由としては

一、過去十二年の行政実績は立派で、失政はない

二、しっかりした将来展望をもっている

三、革新首長会に所属している

などをあげています。

これに対して井出、矢野の両派ともに水元町政の行績は認め、十二年間まことに苦労さまでした、といった調子で三派とも政策上に対立や争点はないものの、推されても四選には出ないと約束し、後継者まで指名しておきながらの出馬は道義に反するし、おそらく他町村にはない前代未聞の事態でないか

二、たとえ連続四選に成功したとしてもあの病状では果してあと一期を完うできるのかどうか

三、すでに国や道の補助事業の関係は内定している

ことし本別町長選は四年前に水元氏は三期かぎりで勇退を言明していたのでその後継者と井出氏との一騎打ちとみられていて、昨年になって水元氏の談解を得て矢野氏が名乗りをあげたので、井出、矢野の両氏の対決とみられていたところ、意外にも水元氏が割り込んできたために三巴戦になりました。

そうなれば水元、矢野の両氏は同じ地盤で同士討ちとなるので、井出氏は絶対有利というのか大方の観測だったわけですが、長丁場の後援会活動がすすむうちに様相が変化をきたしたもはは強い矢野氏になりつつあるようで、果してその優位を持続できるかどうかという情勢になってきたことです

なんといっても現職十二年の水元陣営には町議会の大半から町で肩書をもつ有力者層が顔をそろえており、高級車で送り迎えの町長の姿は足寄や陸別にはあり得ない風景である、年令的にはあと一期がせいぜいという人よりも先の長い前途のある若い町長によってマンネリ化した町行政を刷新して、役場庁舎に新しい空気を入れる必要がある

七、水元町政に失政はないというが、収入役の選任が町議会で否決されたのは十勝管内ではじめての事態であり、本別製材工場の用地買収をめぐっての裁判沙汰などは行政の不手際といえる

八、このたびの出馬決意は革新派よりも町と利害関係のある建設業者の要請によるもの、農村青年行動隊がそつくり手弁当で資金をもちよつての活動ぶりに加えて、矢野夫妻をかこんでの「抱負をきく会」にあつまる人々は、その人柄と陽のあたらない層へのこまかい政策に心を打たれるようで『矢野さんこそはたらくものの味方だ』という声が出はじめています。

このままでいけば水元陣営とは互角に、あるいはそれ以上の集票能力をもち、井出派にしてもボヤボヤしておれない状況に追い込まれそうです。

票のゆくえは

票のゆくえは水元氏に傾くとみられていたが、井出派の後援会活動を展開して井出陣営を脅かしつつあることです。

矢野氏は帯広畜大を出て本別町農業共済組合の獣医師として二十八年間にわたつてもつとも農民に接触してきた人だけに、三人のなかでもつとも農民票をあつめるのは確実ですが、問題は市街地区へどれだけ喰い込めるかということです。

いまのところ一般的には票のゆくえは水元・井出・矢野氏の順とみられていますが、水元氏は井出、矢野両氏のはさみ討ちにあっており、井出氏にしても基盤の自民党支部のまとまりがくずれているようで、国や道段階の選挙と違って身近な町内選挙となると、その団体なり会社なり地区労などが推薦を決めてもそれは幹部だけのことで、末端にはいっていないようです。

その間げきをついて支持層を着実にひろげているのが矢野派で、五十才の若さで共済組合を退職して奥さんの栄子さんも農協のアルバイトをやめて、裸一貫となって〝この一戦〟にかけている姿に、これまでの水元選挙に偉力を発揮してきた商工、農村青年行動隊がそつくり手弁当で資金をもちよつての活動ぶりに加えて、矢野夫妻をかこんでの「抱負をきく会」にあつまる人々は、その人柄と陽のあたらない層へのこまかい政策に心を打たれるようで『矢野さんこそはたらくものの味方だ』という声が出はじめています。

このままでいけば水元陣営とは互角に、あるいはそれ以上の集票能力をもち、井出派にしてもボヤボヤしておれない状況に追い込まれそうです。

ニュースを斬る

日中条約問題

◆…日中友好条約を結ぶことは、現在の福田内閣の前の三木内閣のその前の田中内閣のときに田中首相自らが北京へ乗り込んで両国の意見が一致して約束してきたことで、国際信義のうえからも一日も早く約束は実行すべきです。

◆…社会党をはじめ全野党は早期締結に賛成でなにをグズグズしているのかと国会のひらかれているうえ、政府の尻をたたいているほどで、国会通過に問題はないのに福田首相に決断がつかないだけのことです

◆…それは自民党内に慎重派と称するワカラズ屋議員が若干いるので、それに気を使ってオロオロしているだけのことです。

◆…なにしろそのワカラズ屋は主として福田首相の周辺にウロウロしているだけに、首相の統治能力が疑われるわけです。

◆…近隣諸国とは仲よくしつくして、婦女子に対しても暴虐のかぎりを果した過去の日本の責任を痛感して、いまや世界第三の経済大国だとばかりに思いあがつていてはいけません。

◆…なにしろ日本は戦争に負けたのだから、ひたすらに謙虚に、ひたすらに平和を愛する国家として、世界の信頼を回復することが、いまの日本の国民の義務であり、責任であるわけですがそれをいうのもことし十一月の自民党総裁公選になんとか円満に再選されて政権の座を確保したいという政権欲が、国家、国民のことよりも優先しているのではないかと思われるのです。

◆…特に第二次大戦では満洲を手はじめに中国全土を侵略しつくして、婦女子に対して、いまや世界第三の経済大国だとばかりに思いあがつていてはいけません。

とかち新聞　主筆 松山明
(発行所)北海道足寄郡足寄町　とかち新聞社　電話2551番
毎旬5の日発行　1カ月300円　1カ年前納 3,000円

霊きゅう車　葬儀仏具一式　花輪　生花
(に)自動車　新津はなや
足寄町西三区　T　五一二六二六

新畳　表替　中古畳　フスマ張替
敷物一式
クロス施工　小林畳店
小林幸三郎
足寄町大通り山口整骨院前　T五一二四二八

大自然のなかの人工美
―いで湯のふるさと―
観光と保養の　芽登温泉
足寄町芽登　T　二八五五

家具と建材
信用は最大のサービス
技術と納期を誇る！
家具　建具　製造販売
住宅内装に新建材を！
佐藤家具建材店
足寄駅前　T五―二三二番

足寄新名所！
楽しい銘石湯でおつぐろぎ下さい
小宴会、大宴会、各祝賀会に
グリーンパーク
ドライブイン・大駐車場完備！
足寄町里見ガ丘公園　T　五―三一七五

ピアノ科、エレクトーン科、保母養成科、声学科
川岸音学院　院長 川岸新一
講師　斎藤九三子　井出真希子
陸別教室　若葉町　T　二三七九
足寄教室　込山デンキ内　T　⑤二一一二
本別教室　井出建設内　T　③二一一五
上士幌教室　家常商店内　T　③二〇六五
足寄自宅　北五区　T　⑤二八〇九